

川西市中学校給食検討会議（第2回）次第

日 時 平成25年11月14日（木）

午後2時00分～

場 所 庁議室（川西市役所4階）

1 開会

2 会議内容

（1）中学校給食に係る近隣他市町の実施状況

（2）中学校給食のあり方に関するアンケート調査結果

（3）その他

3 閉会

近隣他市町中学校給食等実施状況(平成25年9月時点集計)

市町名	学校数	生徒数	位置づけ	喫食	調理実施	方式	献立作成	備考
川西市	7	4,340 平成25年5月	未実施(ミルク給食のみ実施)	---	---	---	---	25年度から中学校給食のあり方を検討
西宮市	20	11,991 平成25年5月	学校給食	全員	直営 (米飯:委託・直営併用)	自校	栄養教諭	
宝塚市	12	5,661 平成25年5月	学校給食	全員	直営 (米飯:委託・直営併用)	自校	栄養教諭	
三田市	8	3,325 平成25年5月	学校給食	全員	直営 (米飯:委託)	共同調理場(2か所)	栄養教諭	
猪名川町	3	994 平成25年5月	学校給食	全員	直営 (米飯:直営)	共同調理場(1か所)	栄養教諭	
尼崎市	19	10,290 平成25年5月	昼食提供	希望制	委託	デリバリー(弁当箱)	市	平成24年10月から3校で開始、平成27年度中に全19校で実施予定
芦屋市	3	1,590 平成25年5月	未実施 (学校給食を実施予定)	(全員)	(未定)	(自校予定)	(栄養教諭)	開始予定時期: 1校目・平成27年度 2校目・平成30年度 3校目・平成32年度
伊丹市	8	5,510 平成25年5月	未実施(ミルク給食のみ実施)	---	---	---	---	25年度から中学校給食のあり方を検討
神戸市	82	36,895 平成25年5月	昼食提供(80校)	希望制	委託	デリバリー(弁当箱)	業者	
			(学校給食を実施予定)	(選択制)	(委託)	(デリバリー(弁当箱))	市	平成26年度中に一部校で開始し、平成27年度中に全82校で実施予定
明石市	13	8,252 平成25年5月	学校給食	(全員)	(委託)	(共同調理場)	(栄養教諭)	平成27年度開始予定

近隣他市町中学校給食等実施状況(平成25年9月時点集計)

市町名	学校数	生徒数	位置づけ	喫食	調理実施	方式	献立作成	備考
箕面市	8	平成25年5月 3,313	学校給食	全員	委託	自校	栄養教諭	平成24年9月から小中一貫校2校で開始、平成25年9月から全8校で開始
枚方市	19	平成24年5月 11,371	学校給食	(選択制)	(委託)	(共同調理場(弁当箱))	栄養教諭	平成28年度までのできるだけ早い時期に開始予定
高槻市	18	平成24年5月 9,313	昼食提供(子育て支援の一環)(16校) 学校給食(2校)	希望制 (全員)	委託 (直営)	デリバリー(弁当箱) 鍋子(小学校の調理施設から配送)	市 栄養教諭	平成24年11月から2校で試行、平成26年度には全18校で開始予定(一部校では、新規に調理施設を整備予定)
池田市	5	平成24年5月 2,518	(学校給食を実施予定)	(全員)	(委託)	(デリバリー(弁当箱))	市	平成26年4月から全5校で開始予定
豊中市	18	平成24年5月 9,988	(学校給食を実施予定)	(選択制)	(委託)	(デリバリー(弁当箱))	市・業者	平成26年1月に7校で、平成27年1月に5校で、平成28年1月に6校で、それぞれ開始予定。全18校で実施予定
吹田市	18	平成23年5月 9,400	学校給食	選択制	委託	デリバリー(弁当箱)	市・業者	
茨木市	14	平成25年5月 7,916	学校給食	選択制	委託	デリバリー(弁当箱)	市・業者	
摂津市	5	平成24年5月 2,295	(学校給食を実施予定)	(選択制)	(委託)	(デリバリー(弁当箱))	市	平成27年度から開始予定
守口市	9	平成25年5月 3,745	学校給食	(選択制)	(委託)	デリバリー(弁当箱)	市・業者	平成26年1月から実施
寝屋川市	12	平成25年5月 6,496	学校給食	全員	委託	デリバリー(弁当箱)	市	

給食実施方式別のメリット・デメリットの整理

方式内容	自校調理方式 各中学校に調理室を設置し、調理を行う。現在、小学校で実施している方式	センター方式 複数校の給食を一括して調理を行い、配缶などで配送する方式	親子調理方式 給食調理施設のある近隣校で調理を行い、配缶などで配送する方式	デリバリー方式 民間の給食調理施設で調理を行い、学校に配送する方式。ランチボックス(弁当箱)での提供
メリット	<ul style="list-style-type: none"> * 「温かいものは温かく、冷たいものは冷たく」といった適温提供ができる。 * 作る側と食べる側のコミュニケーションがとりやすく、食育の取り組みに有効である。 * 配膳時に生徒の状況に応じて量を調整することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> * 中学校に配膳室を設置する必要はあるものの、自校調理方式に比べると、スペース的な制約は少ない。 * 自校調理方式に比べると、人件費などの経常経費は安くなる。 * 配膳時に生徒の状況に応じて量を調整することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> * 「温かいものは温かく、冷たいものは冷たく」といった適温提供ができる。 * 自校調理方式に比べると、人件費などの経常経費は安くなる。 * 配膳時に生徒の状況に応じて量を調整することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> * 初期投資については中学校の配膳室の整備のみとなり、最小限に抑えることができる。 * 給食の準備、後片付けの時間が短時間でできる。 * 人件費などの経常経費について、他の方式に比べて最小限に抑えることができる。 * 早期に全校一斉で実施することができる。
デメリット	<ul style="list-style-type: none"> * 学校敷地内に給食室を整備する必要がある、スペース的な制約がある。 * 他の方式に比べて、調理室の整備費、人件費などの経常経費が高くなる。 * 全校で実施するまでには時間を要する。 * 給食の準備、後片付けの時間が必要になり、時間に余裕がなくなる。 	<ul style="list-style-type: none"> * 共同調理場を建設するための用地費や建設費が必要になる。 * 調理から喫食まで配送時間を確保する必要があり、適温提供が難しい。 * 給食の準備、後片付けの時間が必要になり、時間に余裕がなくなる。 * 生徒が調理過程に接する機会がとりにくい。 	<ul style="list-style-type: none"> * 中学校の配膳室の整備だけでなく、調理校側でも施設整備が必要になる。 * 給食の準備、後片付けの時間が必要になり、時間に余裕がなくなる。 * 生徒が調理過程に接する機会がとりにくい。 	<ul style="list-style-type: none"> * 調理から喫食まで配送時間を確保する必要があり、適温提供が難しい。 * 生徒が調理過程に接する機会がなく、コミュニケーションがとりにくい。 * 衛生管理上、温かい給食の提供は困難になり、多様な献立の提供が難しい。

給食実施方式別のメリット・デメリット

方式内容	自校調理方式	センター方式	親子調理方式	デリバリー方式
	各中学校に調理室を設置し、調理を行う。現在、小学校で実施している方式	複数校の給食を一括して調理を行い、配缶などで配送する方式	給食調理施設のある近隣校で調理を行い、配缶などで配送する方式	民間の給食調理施設で調理を行い、学校に配送する方式。ランチボックス(弁当箱)での提供
食育	○作る側と食べる側のコミュニケーションがとりやすく、食育の取り組みに有効である。	△生徒が調理過程に接する機会が少なく、コミュニケーションがとりにくい。	△生徒が調理過程に接する機会が少なく、コミュニケーションがとりにくい。	×生徒が調理過程に接する機会がなく、コミュニケーションがとれない。
献立	○調理数が少ないため、手作りを含めて多様な献立が提供できる。	△大量調理のため、自校調理に比べると献立が制約を受ける。	○調理数にもよるが、手作りを含めて多様な献立が提供できる。	×衛生管理上、温かい給食の提供は困難になり、多様な献立の提供が難しい。
適温提供	○「温かいものは温かく、冷たいものは冷たく」といった適温提供ができる。	△配送距離にもよるが、保温を工夫すれば、ある程度温かい状態で提供ができる。	△配送距離にもよるが、保温を工夫すれば、ある程度温かい状態で提供ができる。	×衛生管理上、温かい給食の提供は困難である。
衛生管理	○調理から喫食まで時間が短く、食中毒が発生しにくい。 ○食中毒が出た場合の被害は最小限に抑えられる。	△調理から喫食まで時間がかかるため、自校調理方式より食中毒が発生しやすい。 ×食中毒が出た場合の被害は大きい。	○調理から喫食まで時間が比較的短く、食中毒が発生しにくい。 △食中毒が出た場合の被害はセンター方式よりも小さい。	×調理から喫食まで時間がかかるため、食中毒が発生しやすい。 ×委託先が1社の場合、食中毒が出た場合の被害は大きい。
量の調整	○配膳時に生徒の状況に応じて量を調整することができる。	○配膳時に生徒の状況に応じて量を調整することができる。	○配膳時に生徒の状況に応じて量を調整することができる。	×個別の量の調整はできない。
栄養教諭の配置	○国の基準に基づき、一定の配置が見込める。	△センターに配置される可能性はあるが、中学校への配置はない。	△調理校以外の中学校への配置はない。	×中学校への配置はない。
アレルギー対応	○調理者と生徒の距離が近く、きめ細かい対応が可能である。	△自校調理方式に比べると、きめ細かい対応がしにくい、ある程度の対応は可能である。	○調理者と生徒の距離が近く、きめ細かい対応が可能である。	×業者製造のため、予算の制約もあるが、きめ細かい対応は困難である。
学校運営への影響	×給食の準備、後片付けの時間が必要になり、時間に余裕がなくなる。	×給食の準備、後片付けの時間が必要になり、時間に余裕がなくなる。	×給食の準備、後片付けの時間が必要になり、時間に余裕がなくなる。	△給食の準備、後片付けは速やかにできる。
初期経費	×中学校で調理室と配膳室の整備が必要。	×センター用地の確保・整備、中学校で配膳室の整備が必要。	×調理校での調理室の改修整備と中学校で配膳室の整備が必要。	△中学校で配膳室の整備が必要。
経常経費	×人件費、光熱水費が高くなるなど、最も経費がかかる。	△人件費、光熱水費は自校調理方式より抑えることができるが、配送コストが必要になる。	△調理校で人件費、光熱水費が増え、配送コストが必要になるものの、自校調理方式より抑えることができる。	○配送コストも委託料に含まれていて効率的である。
実施時期	×各校で調理室と配膳室の整備が必要なため、全校一斉で実施する場合は時間がかかる。	△自校調理に比べて早期に実施できる。	△自校調理に比べて早期に実施できる。	○早期に実施が可能である。

中学校給食のあり方に関するアンケート調査結果

I 調査の概要

(1) 目的
中学校給食のあり方を検討するための基礎資料とする

(2) 調査対象
川西市立小学校に在籍する5年、6年の児童及びその保護者
川西市立中学校に在籍する1年、2年の生徒及びその保護者

(3) 調査方法
調査対象者による記入(無記名)
各学校で配付、回収

(4) 実施期間
平成25年9月17日～9月27日

(5) 配付数・有効回答数・有効回答率
児童及び児童の保護者

	在籍児童数 (H25.9.1現在)	配付数	有効回答数	有効回答率
児童	3,135	3,106	2,819	90.8%
保護者	-	3,106	2,134	68.7%

生徒及び生徒の保護者

	在籍生徒数 (H25.9.1現在)	配付数	有効回答数	有効回答率
生徒	2,919	2,870	2,683	93.5%
保護者	-	2,870	1,740	60.6%

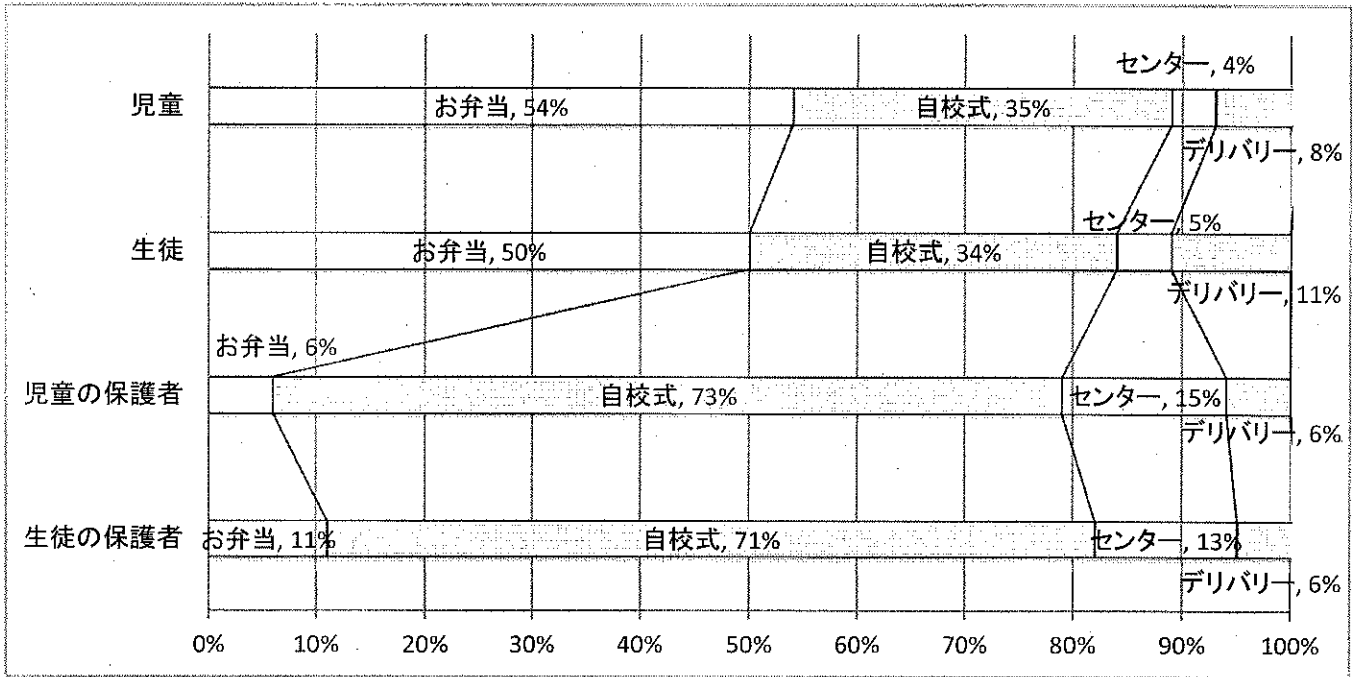
(6) アンケート集計の注意事項

- ・比率は小数点以下第2位を四捨五入しているため、各比率の合計が100%とならない場合がある。
- ・複数回答を求めた設問では、回答者数を基準として比率算出を行っているため、比率計は100%を超える。
- ・グラフ中の「その他」には、その設問における無回答者及び無効回答者を含まない。

II 調査結果

(1) 全体的な傾向

中学生になると9割以上の家庭がほぼ毎日子どもに家庭で作ったお弁当を持たせている。子どもは「約半数」が家庭で作ったお弁当を望み、「約3割強」が自校調理方式の給食を希望している。保護者は「約7割」が自校調理方式の給食、「1割強」がセンター等からの配送方式を望み、「中学生保護者の約1割」が家庭で作るお弁当を望んでいる。

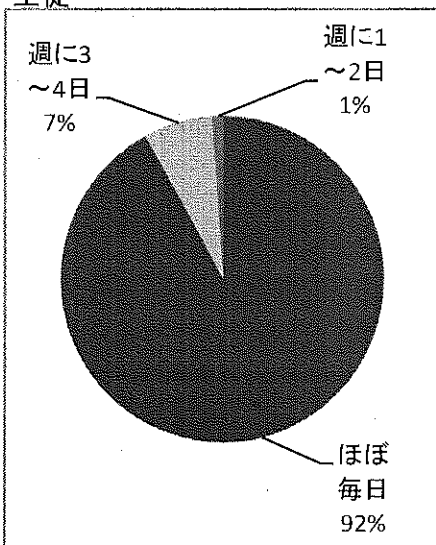


アンケート集計抜粋 問6 学校給食の実施方法で優先順位1位に選んだ方式

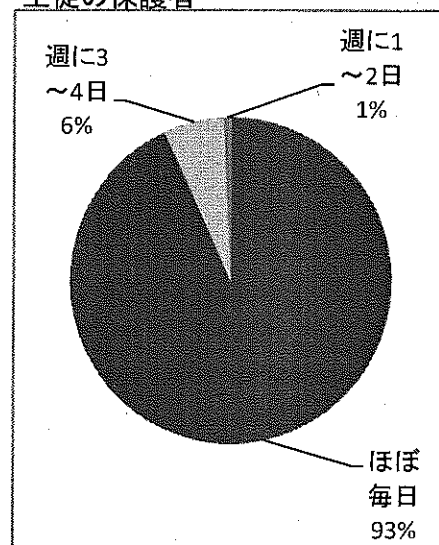
(2) アンケート集計

問1 週に何日くらい家庭で作ったお弁当をお子様を持たせていますか。

生徒

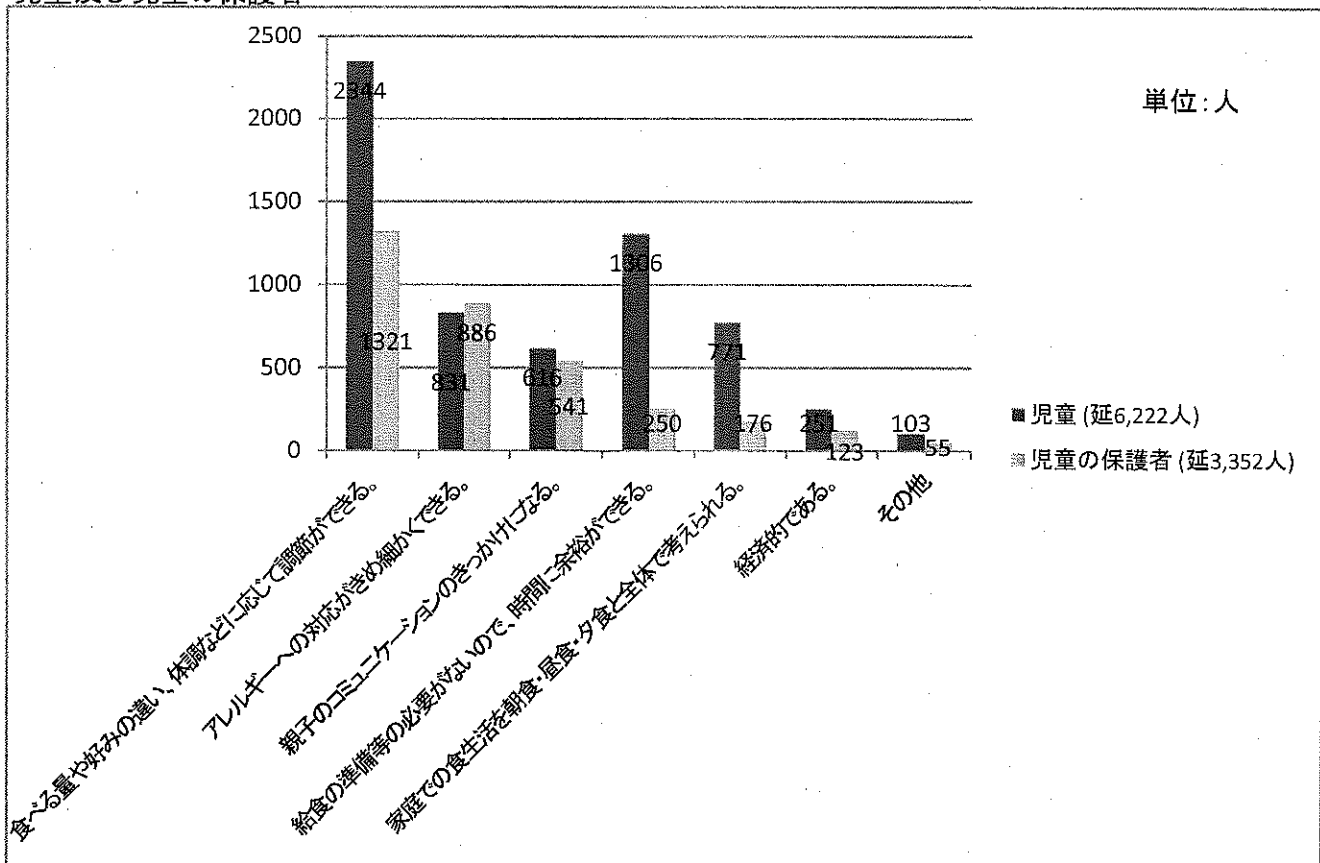


生徒の保護者

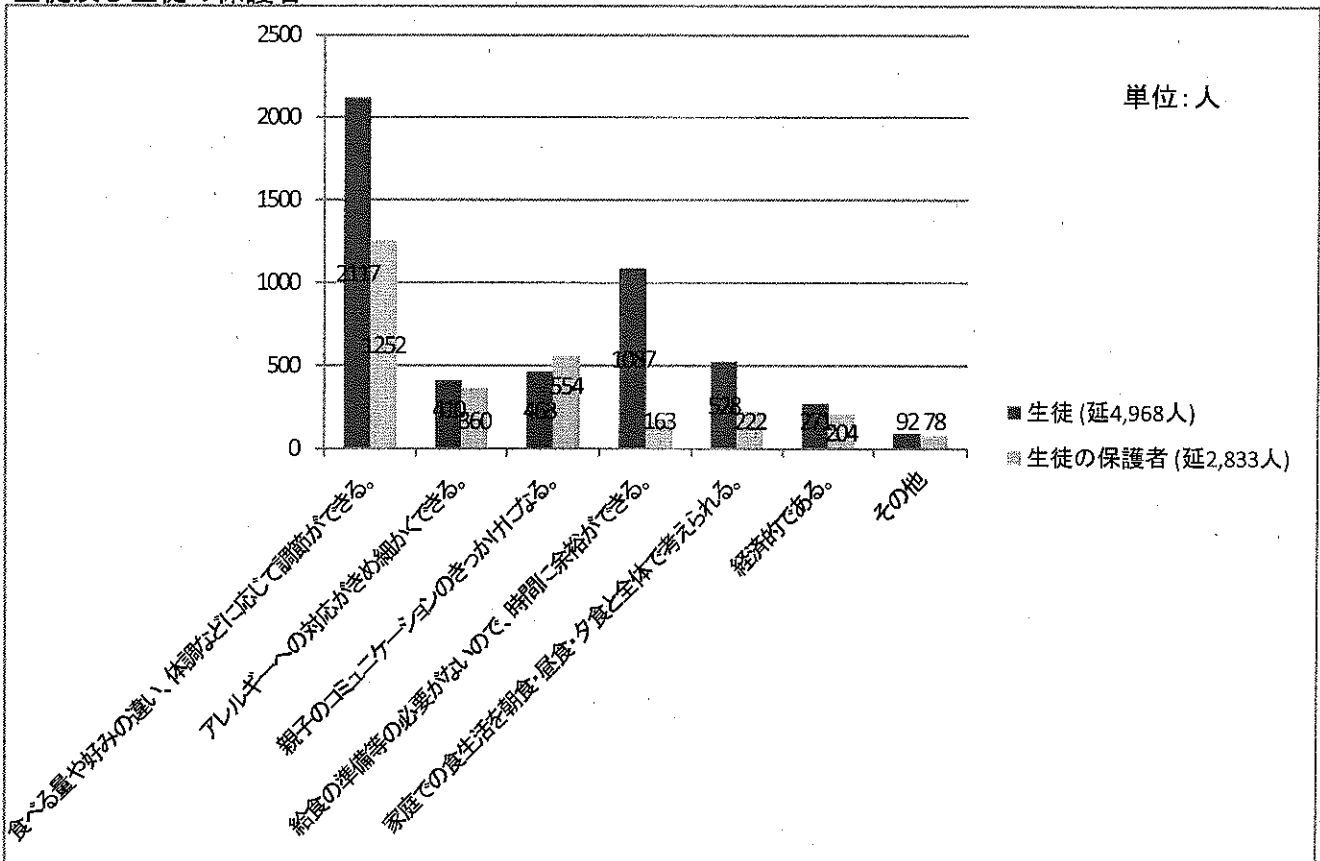


問2 家庭で作るお弁当のよいところについて、3つ選んでください。

児童及び児童の保護者

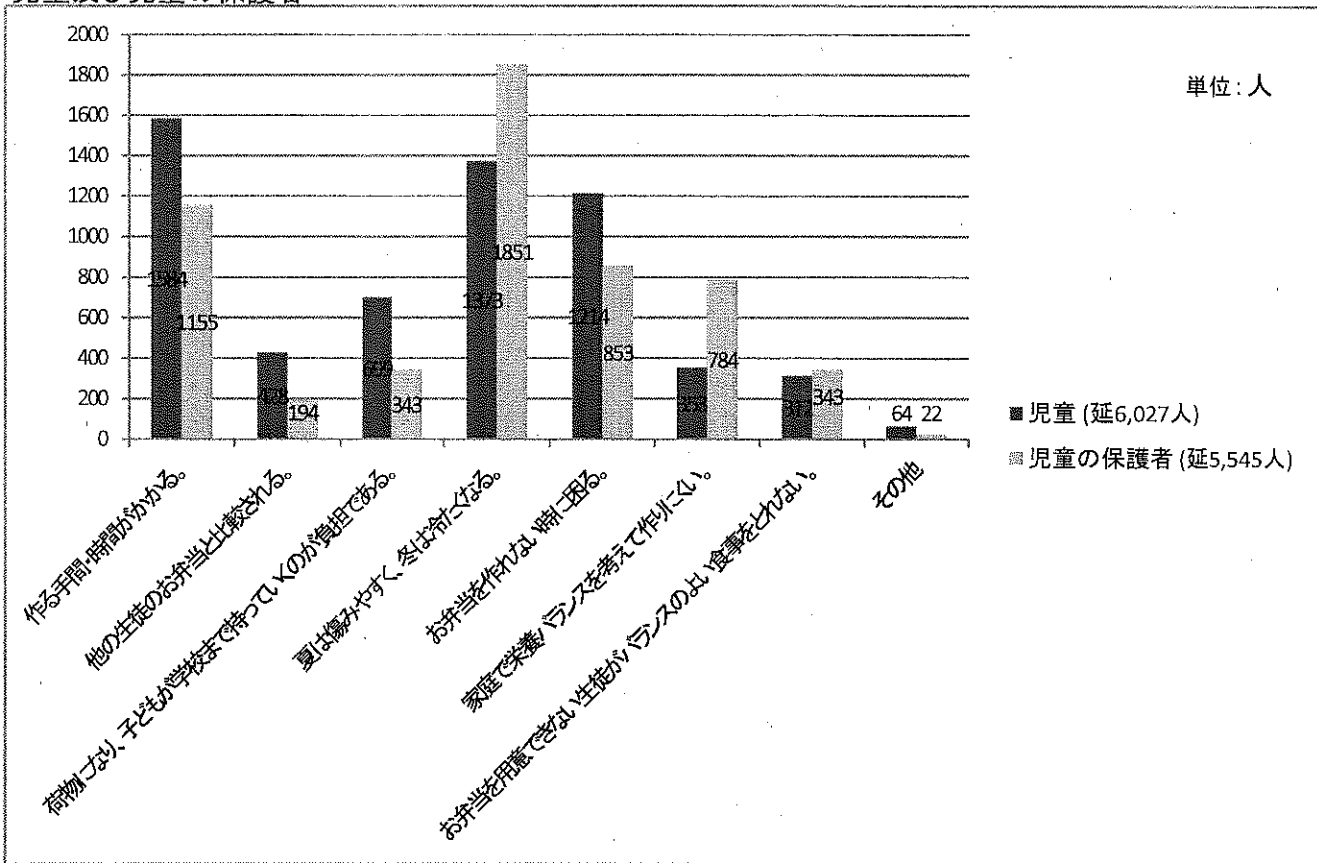


生徒及び生徒の保護者

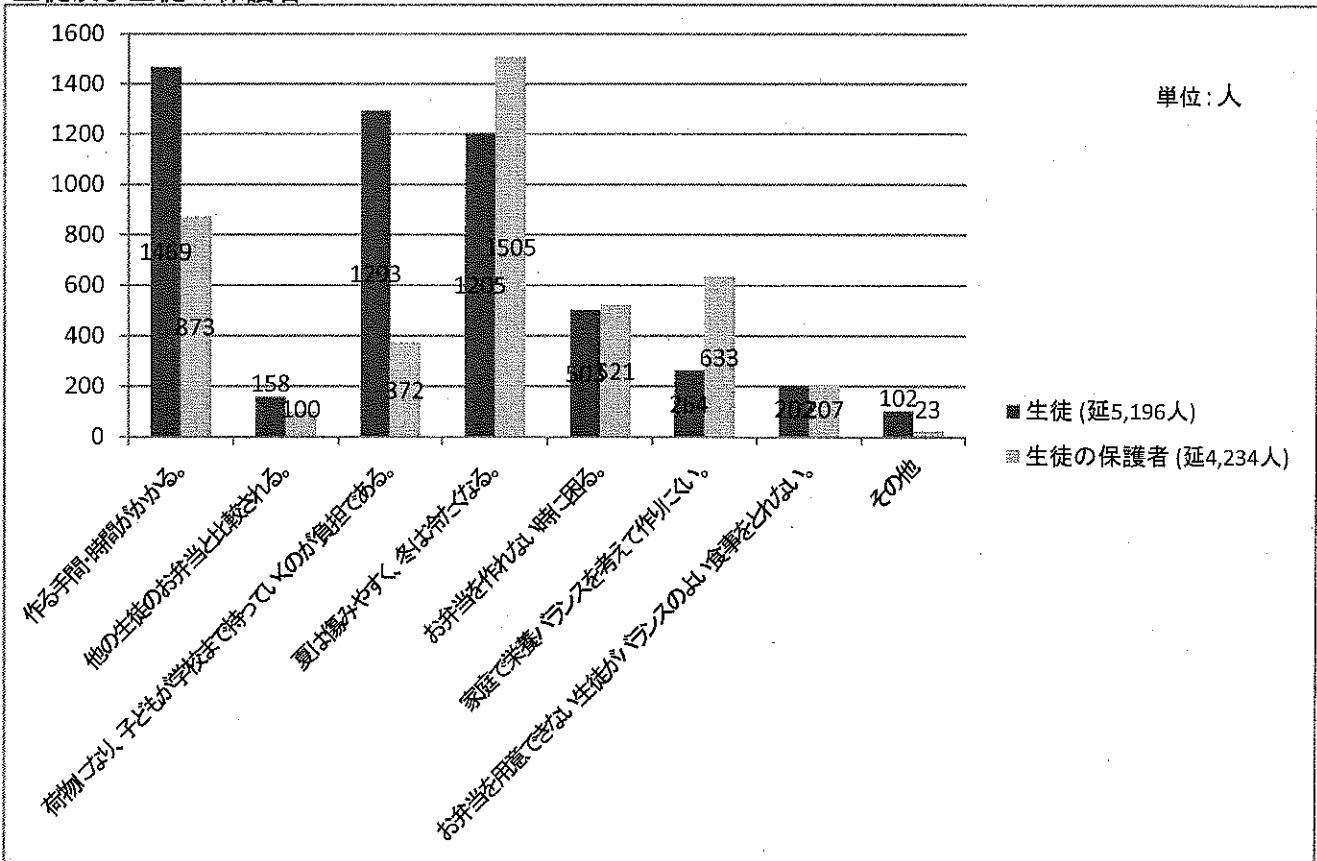


問3 家庭でお弁当を作るにあたって心配なことについて、3つ選んでください。

児童及び児童の保護者

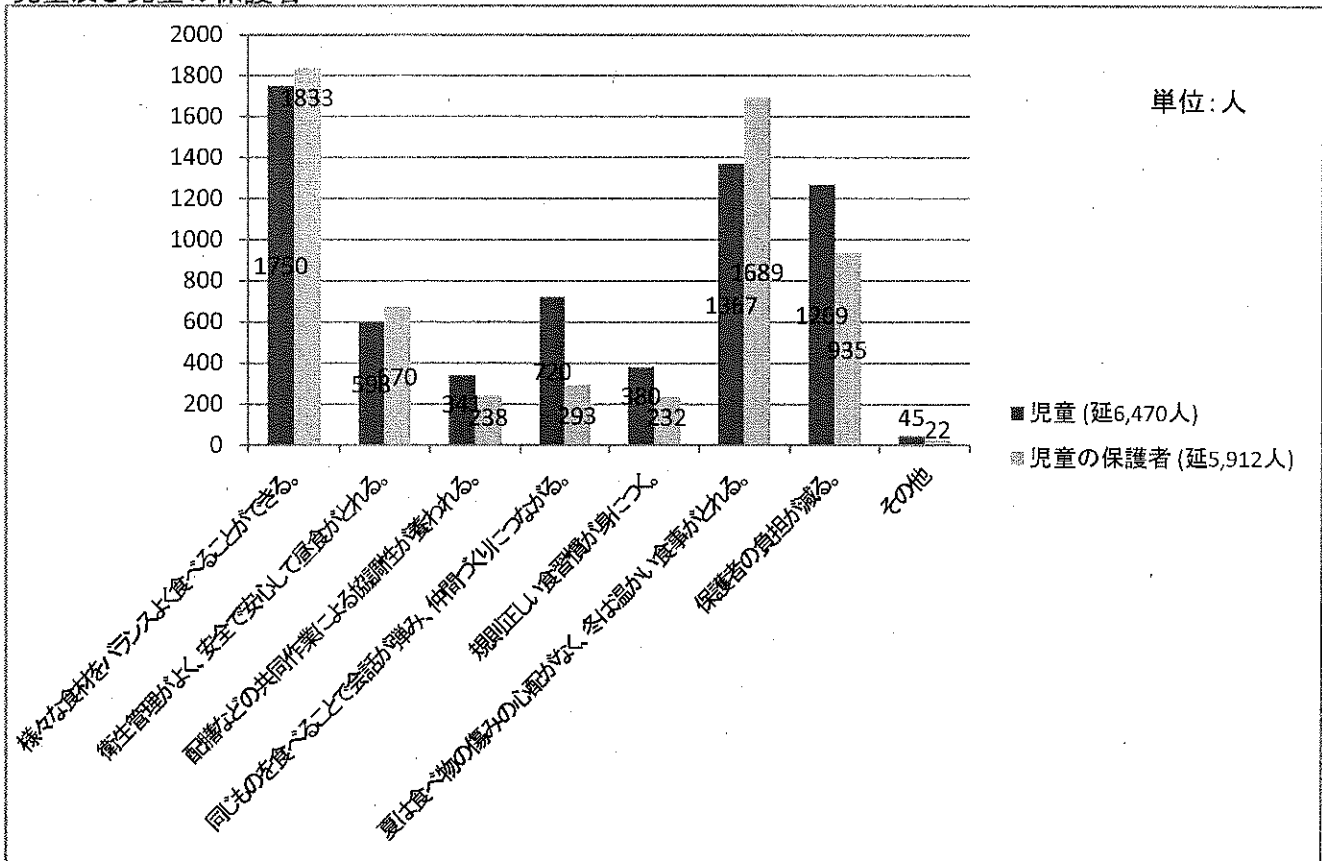


生徒及び生徒の保護者

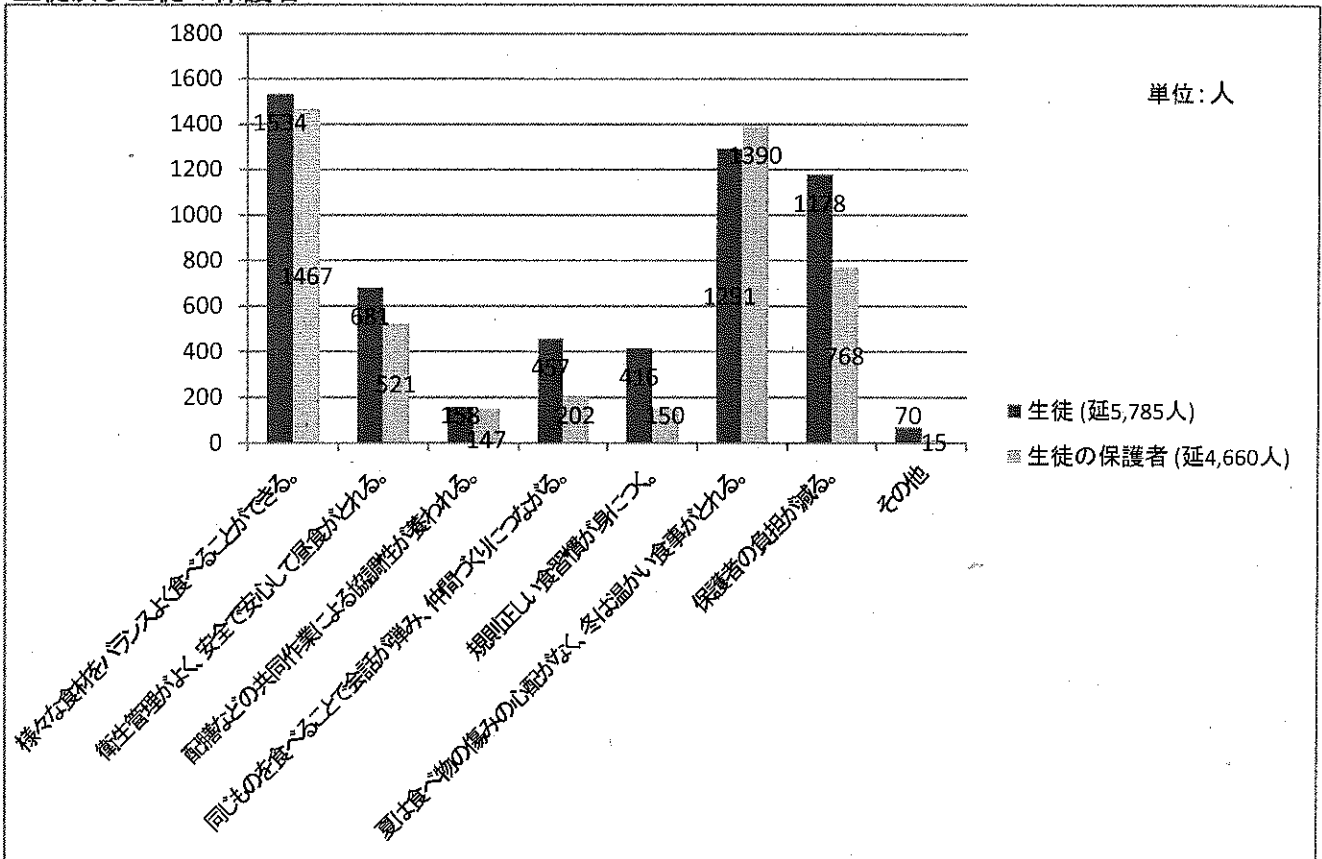


問4 学校給食のよいところについて、3つ選んでください。

児童及び児童の保護者

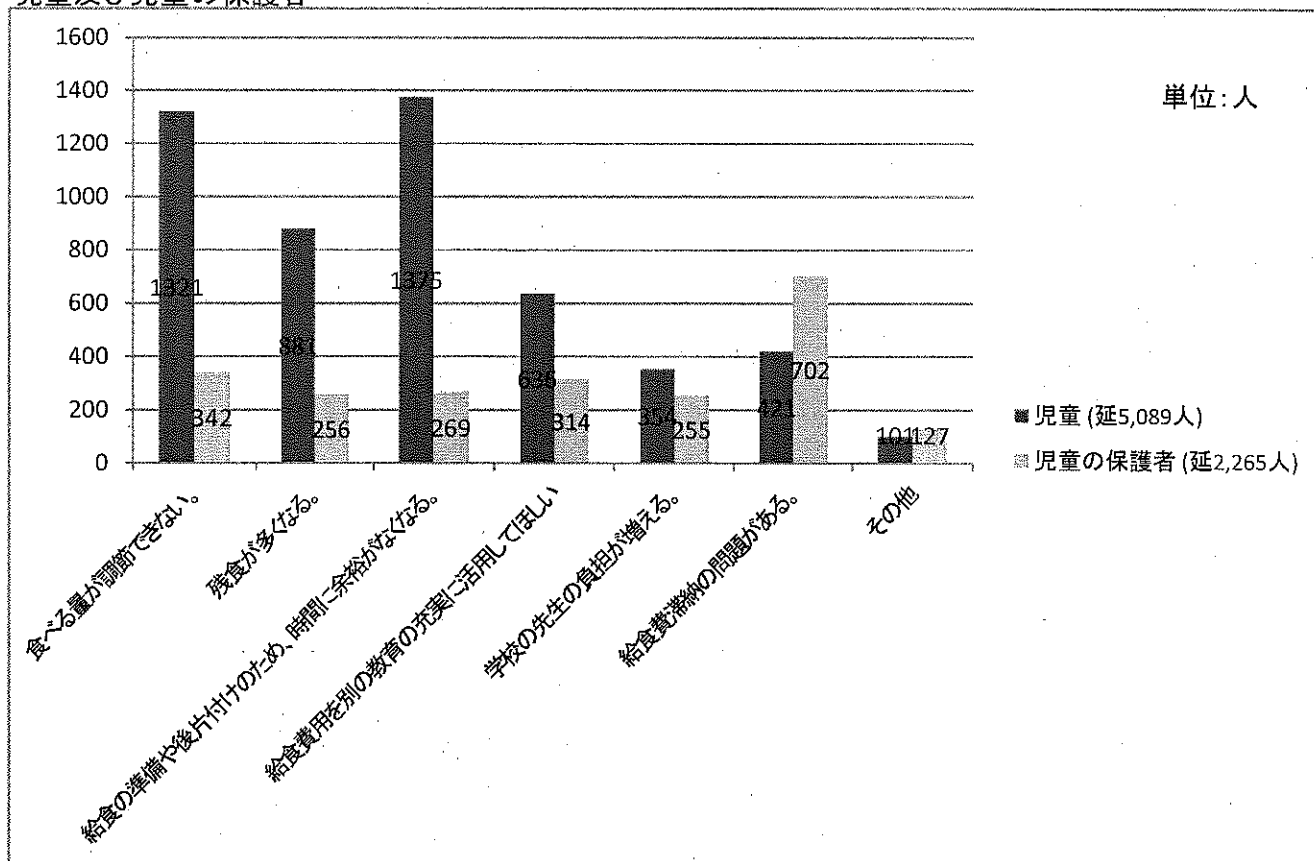


生徒及び生徒の保護者

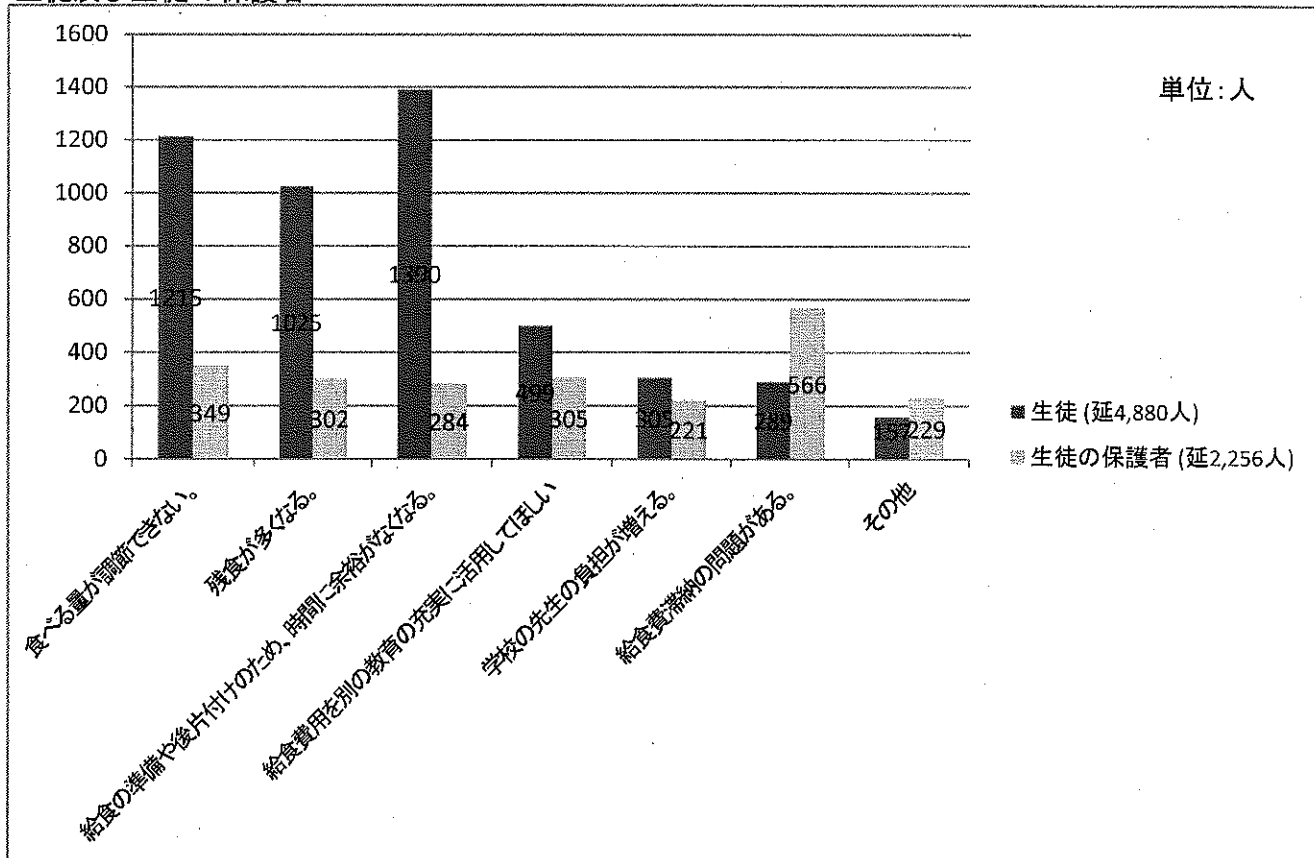


問5 学校給食を実施するにあたって心配なことについて、3つ選んでください。

児童及び児童の保護者

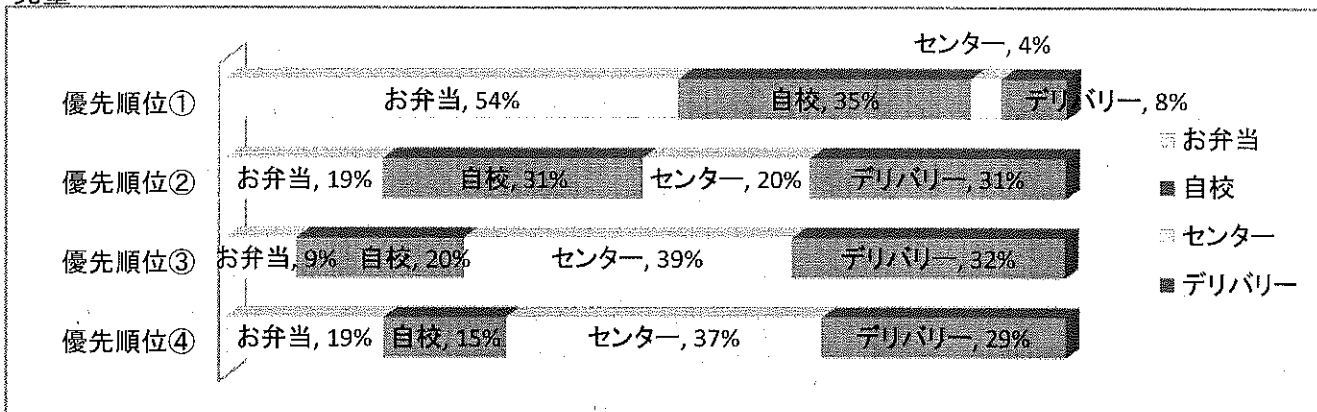


生徒及び生徒の保護者

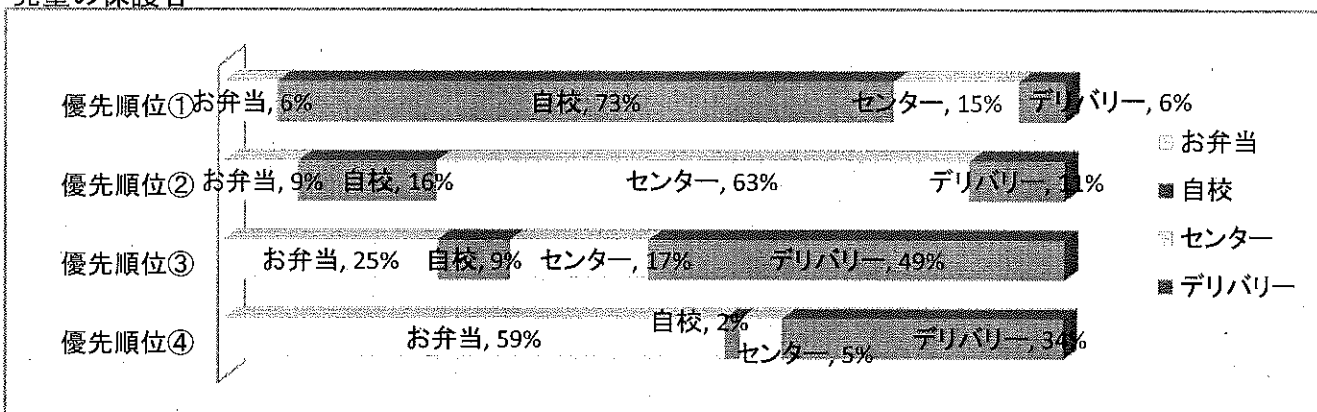


問6 学校給食の実施方法を実施してほしい順にしてください。(全体集計)

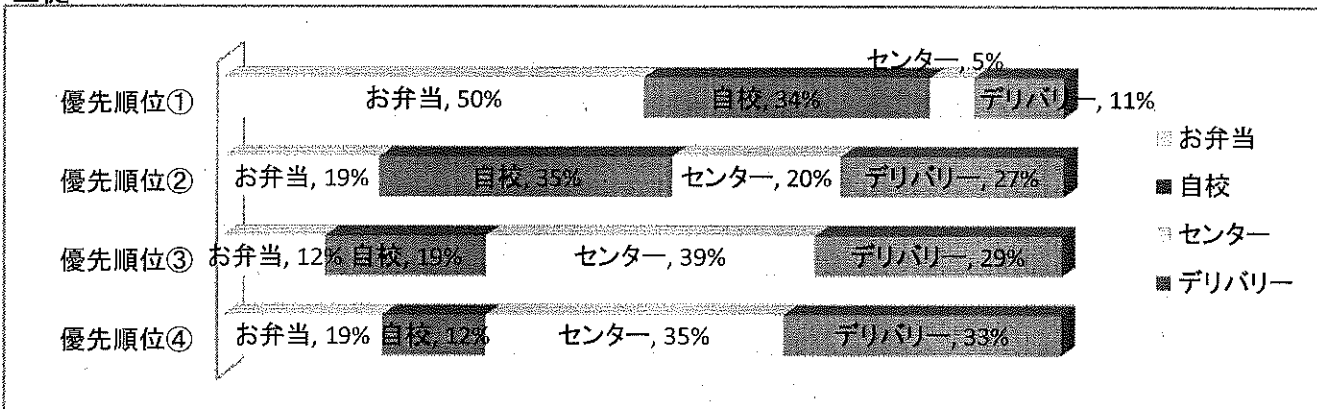
児童



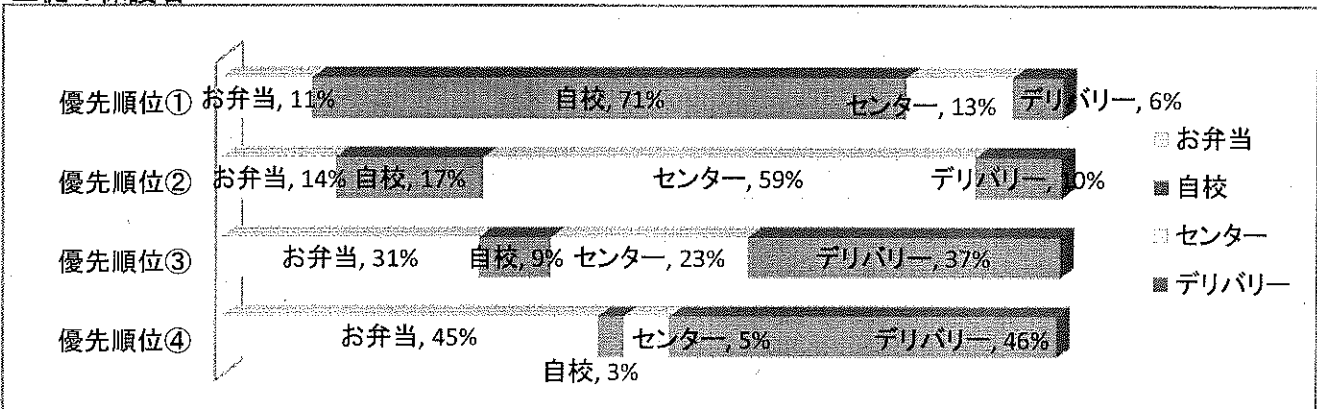
児童の保護者



生徒

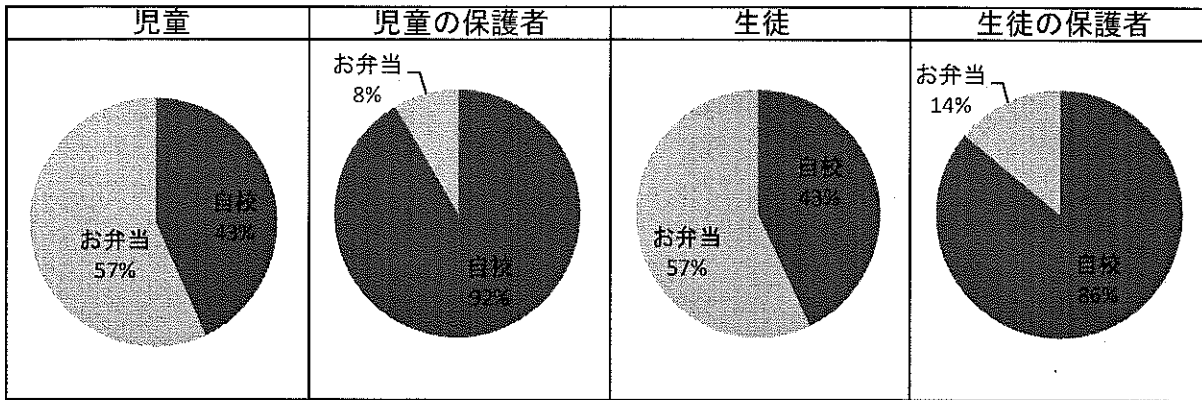


生徒の保護者

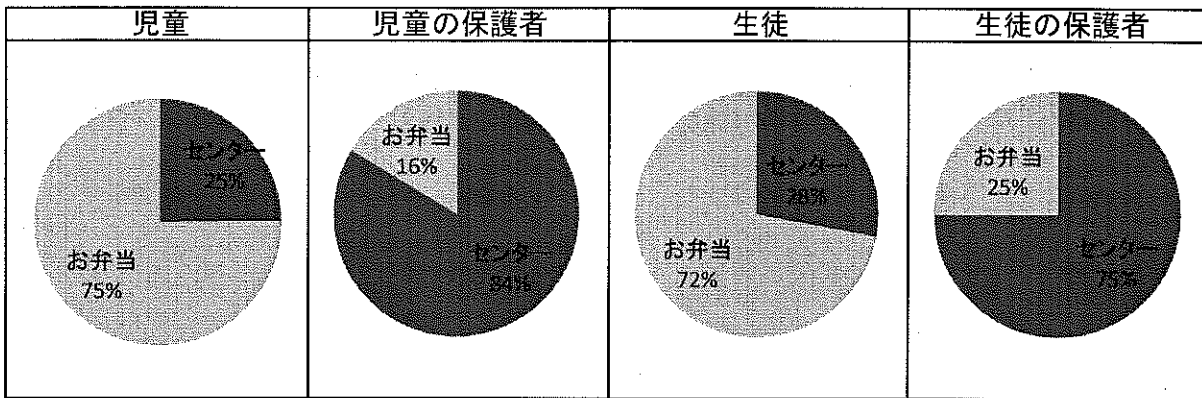


問6 学校給食の実施方法を実施してほしい順にしてください。(お弁当を基準にした集計グラフ)

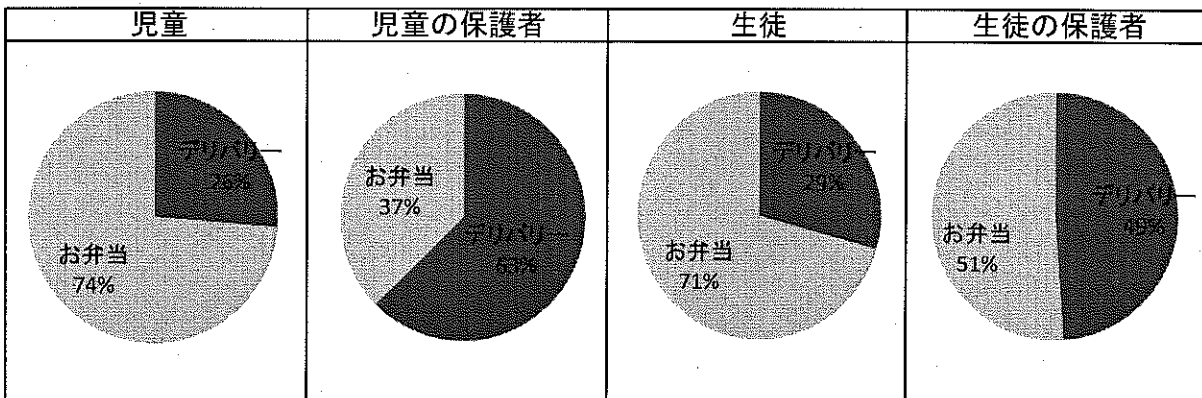
・お弁当と自校方式 どちらに高い優先順位をつけたか。



・お弁当とセンター方式 どちらに高い優先順位をつけたか。



・お弁当とデリバリー方式 どちらに高い優先順位をつけたか。



問5 学校給食を実施するにあたって心配なことについて、あてはまる番号を○で囲んでください
(○は3つまで)。

- ①食べる量が調節できない。
- ②残食が多くなる。
- ③給食の準備や後片付けのため、時間に余裕がなくなる。
- ④施設整備費や維持費など、多く経費が必要になる(別の教育の充実に活用してほしい)。
- ⑤準備や後片付けの指導、いたずらへの対応、会計事務など学校の先生の負担が増える。
- ⑥給食費滞納の問題がある。
- ⑦その他 ()

問6 学校給食の実施方法には様々な方式があります。現行の家庭でお弁当を作る方式を含めて、実施してほしい順に優先順位をつけてください。優先順位の高いものを「1」、優先順位の低いものを「4」とし、枠内に「1」から「4」までの数字をご記入ください。

※生徒全員が同じものを食べる「全員給食」を前提に検討を行います。

方 式	優先順位
①家庭弁当方式…現在、中学校で実施している方式	
②自校調理方式の学校給食…各中学校に調理室を設置し調理を行う。現在、小学校で実施している方式	
③共同調理場または近隣校等から配送する学校給食…共同調理場または給食調理施設のある近隣校で調理を行い配缶などで配送する方式	
④弁当のデリバリー…民間の給食調理施設で給食をつくり学校に配送する方式。ランチボックス(弁当箱)での提供	

問7 中学校給食に関するご意見・ご要望などがございましたら、自由にご記入ください。

以上でアンケートは終わりです。
お忙しいところ、ご協力をいただき、ありがとうございました。



中学校給食のあり方に関するアンケート調査(小学生の保護者様)

<ご協力をお願いします>

川西市教育委員会学務課

☎072-740-1243

川西市教育委員会では、中学校給食のあり方を検討するための基礎資料として、小学5年生～6年生及び中学1年生～2年生の保護者の方を対象にアンケート調査を実施いたします。

お忙しいところ、お手数をおかけしますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

アンケート記入後は、平成25年9月27日(金)までに学校へご提出ください。

問1 現在、中学校ではミルク給食を実施しており、家庭でお弁当を用意していただいています。

家庭で作るお弁当のよいと思われることについて、あてはまる番号を○で囲んでください

(○は3つまで)。

- ①食べる量や好みの違い、体調などに応じて調節ができる。
- ②アレルギーへの対応がきめ細かくできる。
- ③親子のコミュニケーションのきっかけになるなど、つながりが深まる。
- ④給食の準備や後片付けの必要がないので、時間に余裕ができる。
- ⑤家庭での食生活を朝食・昼食・夕食と全体で考えられる。
- ⑥経済的である
- ⑦その他 ()

問2 家庭でお弁当を作るにあたって心配だと思われることについて、あてはまる番号を○で囲んで

ください(○は3つまで)。

- ①作る手間・時間がかかる。
- ②他の生徒のお弁当と比較される。
- ③荷物になるため、子どもが学校まで持っていくのが負担である。
- ④夏は傷みやすく、冬は冷たくなる。
- ⑤お弁当を作れないときに困る。
- ⑥家庭で栄養バランスを考えて作りにくい(子どもの好きな献立などが続いてしまう)。
- ⑦お弁当を用意できない生徒がバランスのよい食事をとれない。
- ⑧その他 ()

問3 学校給食のよいところについて、あてはまる番号を○で囲んでください(○は3つまで)。

- ①多彩な献立により、様々な食材をバランスよく食べることができる。
- ②衛生管理がよく、安全で安心して昼食がとれる。
- ③配膳など共同作業による協調性が養われる。
- ④同じものを食べることで会話が弾むなど、仲間づくりにつながる。
- ⑤規則正しい食習慣が身につく。
- ⑥夏は食べ物の傷みの心配がなく、冬は温かい食事がとれる。
- ⑦保護者の負担が減る。
- ⑧その他 ()

裏面にも質問がありますので、ご協力をお願いいたします。

問4 学校給食を実施するにあたって心配なことについて、あてはまる番号を○で囲んでください
(○は3つまで)。

- ①食べる量が調節できない。
- ②残食が多くなる。
- ③給食の準備や後片付けのため、時間に余裕がなくなる。
- ④施設整備費や維持費など、多く経費が必要になる(別の教育の充実に活用してほしい)。
- ⑤準備や後片付けの指導、いたずらへの対応、会計事務など学校の先生の負担が増える。
- ⑥給食費滞納の問題がある。
- ⑦その他()

問5 学校給食の実施方法には様々な方式があります。現行の家庭でお弁当を作る方式を含めて、実施してほしい順に優先順位をつけてください。優先順位の高いものを「1」、優先順位の低いものを「4」とし、枠内に「1」から「4」までの数字をご記入ください。

※生徒全員が同じものを食べる「全員給食」を前提に検討を行います。

方 式	優先順位
①家庭弁当方式…現在、中学校で実施している方式	
②自校調理方式の学校給食…各中学校に調理室を設置し調理を行う。現在、小学校で実施している方式	
③共同調理場または近隣校等から配送する学校給食…共同調理場または給食調理施設のある近隣校で調理を行い配缶などで配送する方式	
④弁当のデリバリー…民間の給食調理施設で給食をつくり学校に配送する方式。ランチボックス(弁当箱)での提供	

問6 中学校給食に関するご意見・ご要望などがございましたら、自由にご記入ください。

以上でアンケートは終わりです。
お忙しいところ、ご協力をいただき、ありがとうございました。



中学校給食のあり方に関するアンケート調査(中学生用)

<ご協力をお願いします>

川西市教育委員会学務課

☎072-740-1243

川西市教育委員会では、中学校給食のあり方を検討するための基礎資料として、中学1年生～2年生の皆さんを対象にアンケート調査を実施いたします。

お忙しいところ、お手数をかけますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

アンケート記入後は、平成25年9月27日(金)までに学校へご提出ください。

問1 週に何日くらい家庭で作ったお弁当を持っていますか。あてはまる番号を○で囲んでください。

- ①ほぼ毎日 ②週に3～4日 ③週に1～2日

問2 家庭で作るお弁当のよいところについて、あてはまる番号を○で囲んでください(○は3つまで)。

- ①食べる量や好みの違い、体調などに応じて調節ができる。
②アレルギーへの対応がきめ細かくできる。
③親子のコミュニケーションのきっかけになるなど、つながりが深まる。
④給食の準備や後片付けの必要がないので、時間に余裕ができる。
⑤家庭での食生活を朝食・昼食・夕食と全体で考えられる。
⑥経済的である
⑦その他 ()

問3 家庭でお弁当を作るにあたって心配なことについて、あてはまる番号を○で囲んでください(○は3つまで)。

- ①作る手間・時間がかかる。
②他の生徒のお弁当と比較される。
③荷物になるため、学校まで持っていくのが負担である。
④夏は傷みやすく、冬は冷たくなる。
⑤お弁当を作れないときに困る。
⑥家庭で栄養バランスを考えて作りにくい(好きな献立などが続いてしまう)。
⑦お弁当を用意できない生徒がバランスのよい食事をとれない。
⑧その他 ()

問4 学校給食のよいところについて、あてはまる番号を○で囲んでください(○は3つまで)。

- ①多彩な献立により、様々な食材をバランスよく食べることができる。
②衛生管理がよく、安全で安心して昼食がとれる。
③配膳など共同作業による協調性が養われる。
④同じものを食べることで会話が弾むなど、仲間づくりにつながる。
⑤規則正しい食習慣が身につく。
⑥夏は食べ物の傷みの心配がなく、冬は温かい食事がとれる。
⑦保護者の負担が減る。
⑧その他 ()

裏面にも質問がありますので、ご協力をお願いいたします。

問5 学校給食を実施するにあたって心配なことについて、あてはまる番号を○で囲んでください
(○は3つまで)。

- ①食べる量が調節できない。
- ②残食が多くなる。
- ③給食の準備や後片付けのため、時間に余裕がなくなる。
- ④施設整備費や維持費など、多く経費が必要になる(別の教育の充実に活用してほしい)。
- ⑤準備や後片付けの指導、いたずらへの対応、会計事務など学校の先生の負担が増える。
- ⑥給食費滞納の問題がある。
- ⑦その他 ()

問6 学校給食の実施方法には様々な方式があります。現行の家庭でお弁当を作る方式を含めて、実施してほしい順に優先順位をつけてください。優先順位の高いものを「1」、優先順位の低いものを「4」とし、枠内に「1」から「4」までの数字をご記入ください。

※生徒全員が同じものを食べる「全員給食」を前提に検討を行います。

方 式	優先順位
①家庭弁当方式…現在、中学校で実施している方式	
②自校調理方式の学校給食…各中学校に調理室を設置し調理を行う。現在、小学校で実施している方式	
③共同調理場または近隣校等から配送する学校給食…共同調理場または給食調理施設のある近隣校で調理を行い配缶などで配送する方式	
④弁当のデリバリー…民間の給食調理施設で給食をつくり学校に配送する方式。ランチボックス(弁当箱)での提供	

問7 中学校給食に関するご意見・ご要望などがございましたら、自由にご記入ください。

以上でアンケートは終わりです。
お忙しいところ、ご協力をいただき、ありがとうございました。



中学校給食のあり方に関するアンケート調査(小学生用)

<ご協力をおねがいます>

川西市教育委員会学務課

☎072-740-1243

川西市教育委員会では、中学校給食のあり方をお聞きするために、小学5年生～6年生のみなさんにアンケートをおねがいしたいとお聞きしています。

アンケートにご協力をおねがいます。

アンケートは、平成25年9月27日(金)までに学校へ出してください。

問1 現在、中学校ではミルク給食(牛乳だけの給食)をしており、家庭でお弁当を用意していただいています。家庭で作るお弁当のよいと思われることについて、あてはまる番号を○でかこんでください(○は3つまで)。

- ①食べる量やこのみのちがい、体調などに合わせて調節ができる。
- ②アレルギーへの対応がきめ細かくできる。
- ③親子のコミュニケーションのきっかけになるなど、つながりが深まる。
- ④給食の準備やあとかたづけの必要がないので、時間にゆとりができる。
- ⑤家庭での食生活を朝食・昼食・夕食と全体で考えられる。
- ⑥経済的である
- ⑦その他()

問2 家庭でお弁当を作るにあたって心配だと思われることについて、あてはまる番号を○でかこんでください(○は3つまで)。

- ①作る手間・時間がかかる。
- ②ほかの生徒のお弁当と比べられてしまう。
- ③荷物になるため、学校まで持っていくのが大変である。
- ④夏はいたみやすく、冬は冷たくなる。
- ⑤お弁当を作れないときにこまる。
- ⑥家庭で栄養バランスを考えて作りにくい(すきなこんだてなどが続いてしまう)。
- ⑦お弁当を用意できない生徒がバランスのよい食事をとれない。
- ⑧その他()

問3 学校給食のよいところについて、あてはまる番号を○でかこんでください(○は3つまで)。

- ①いろんなこんだてにより、さまざまな食材をバランスよく食べることができる。
- ②衛生管理がよく、安全で安心して昼食がとれる。
- ③みんなで給食の準備をすると協調性がやしなわれる。
- ④同じものを食べることで会話がはずむなど、仲間づくりにつながる。
- ⑤規則正しい食習慣が身につく。
- ⑥夏は食べ物のいたみの心配がなく、冬はあたたかい食事がとれる。
- ⑦保護者の負担がへる。
- ⑧その他()

うら面にも質問がありますので、ご協力をおねがいます。

問4 学校給食をするにあたって心配なことについて、あてはまる番号を○でかこんでください
(○は3つまで)。

- ①食べる量が調節できない。
- ②食べ残しが多くなる。
- ③給食の準備やあとかたづけのため、時間にゆとりがなくなる。
- ④しせつを整備するのにたくさんの費用が必要になる(別の教育に使ってほしい)。
- ⑤準備やあとかたづけの指導、いたずらへの対応、会計事務など学校の先生の負担が増える。
- ⑥給食費をおさめてもらえないなどの問題がある。
- ⑦その他()

問5 学校給食のやりかたにはいろいろな方式があります。現在の家庭でお弁当を作る方式をふくめて、してほしい順に番号をつけてください。してほしい順から「1」、してほしくないものを「4」とし、わく内に「1」から「4」までの数字を書いてください。

方 式	優先順位
①家庭からお弁当を持ってくる方式…現在、中学校でしている方式	
②自分のところの学校で調理する方式…各中学校に調理室をつくり、調理をおこなう。現在、小学校でしている方式	
③共同の調理場または近くの学校などから配送する方式…共同の調理場または給食調理しせつのある近くの学校で調理を行い、配送する方式	
④弁当のデリバリー…民間の給食調理しせつで給食をつくり、ランチボックス(弁当箱)で学校に配送する方式。	

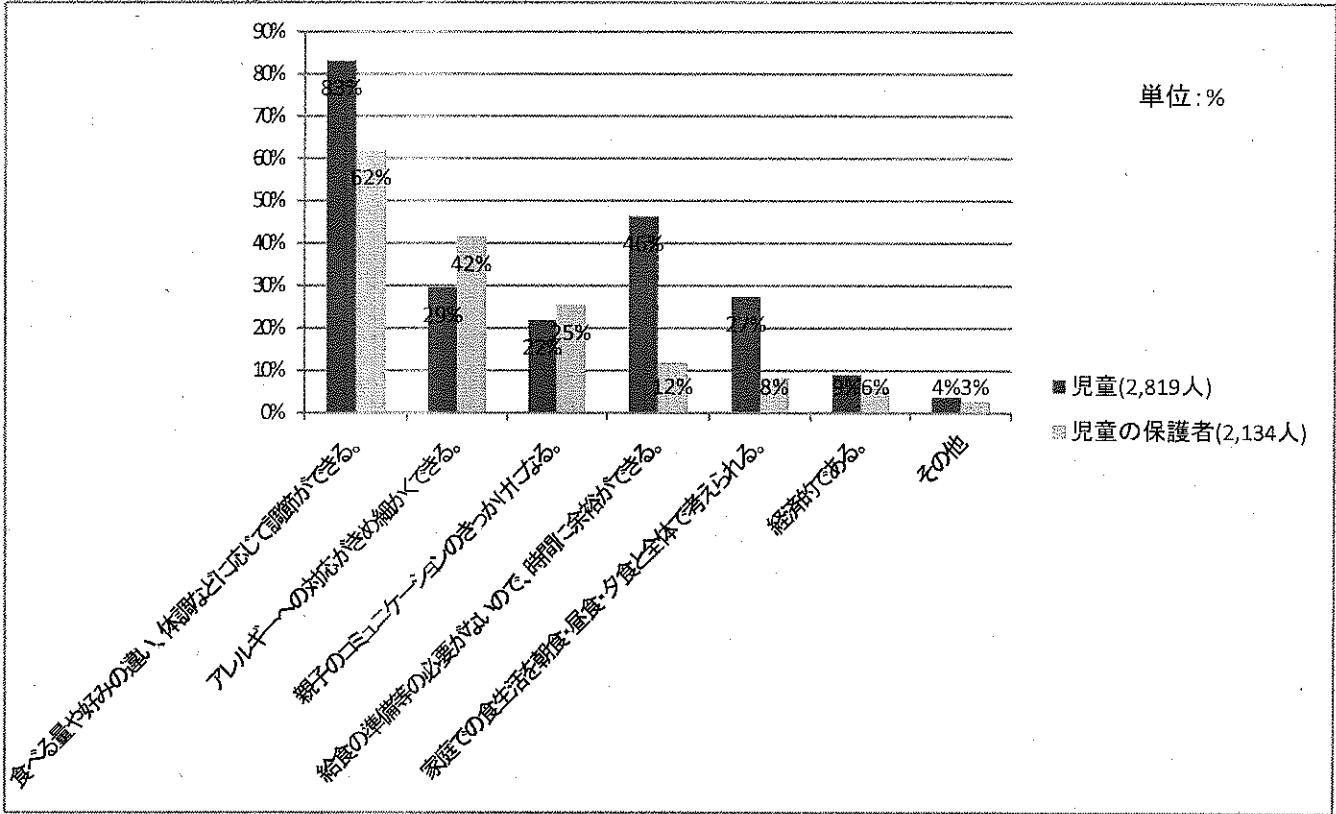
問6 中学校給食に関するご意見・ご要望などがございましたら、自由に書いてください。

以上でアンケートは終わりです。
ご協力をいただき、ありがとうございました。

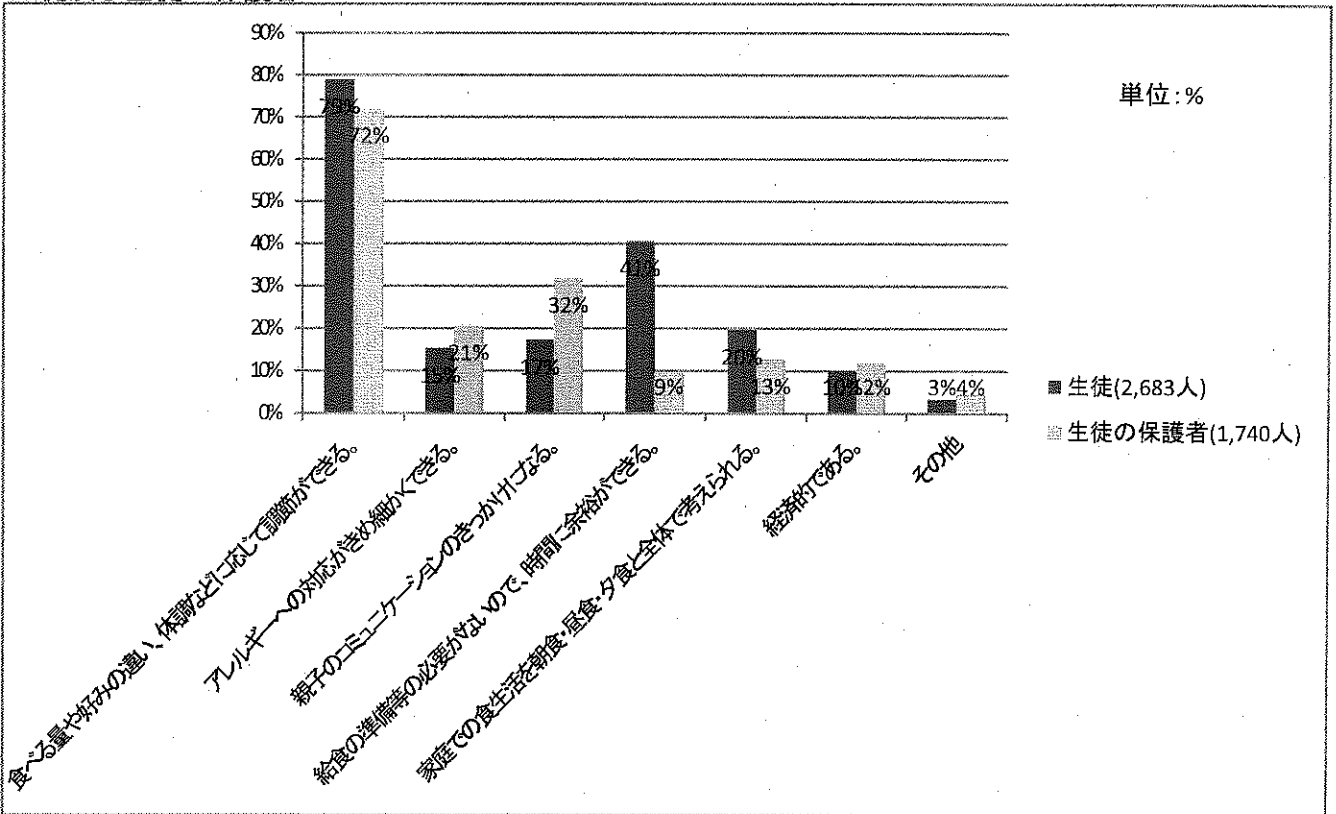


問2 家庭で作るお弁当のよいところについて、3つ選んでください。

児童及び児童の保護者

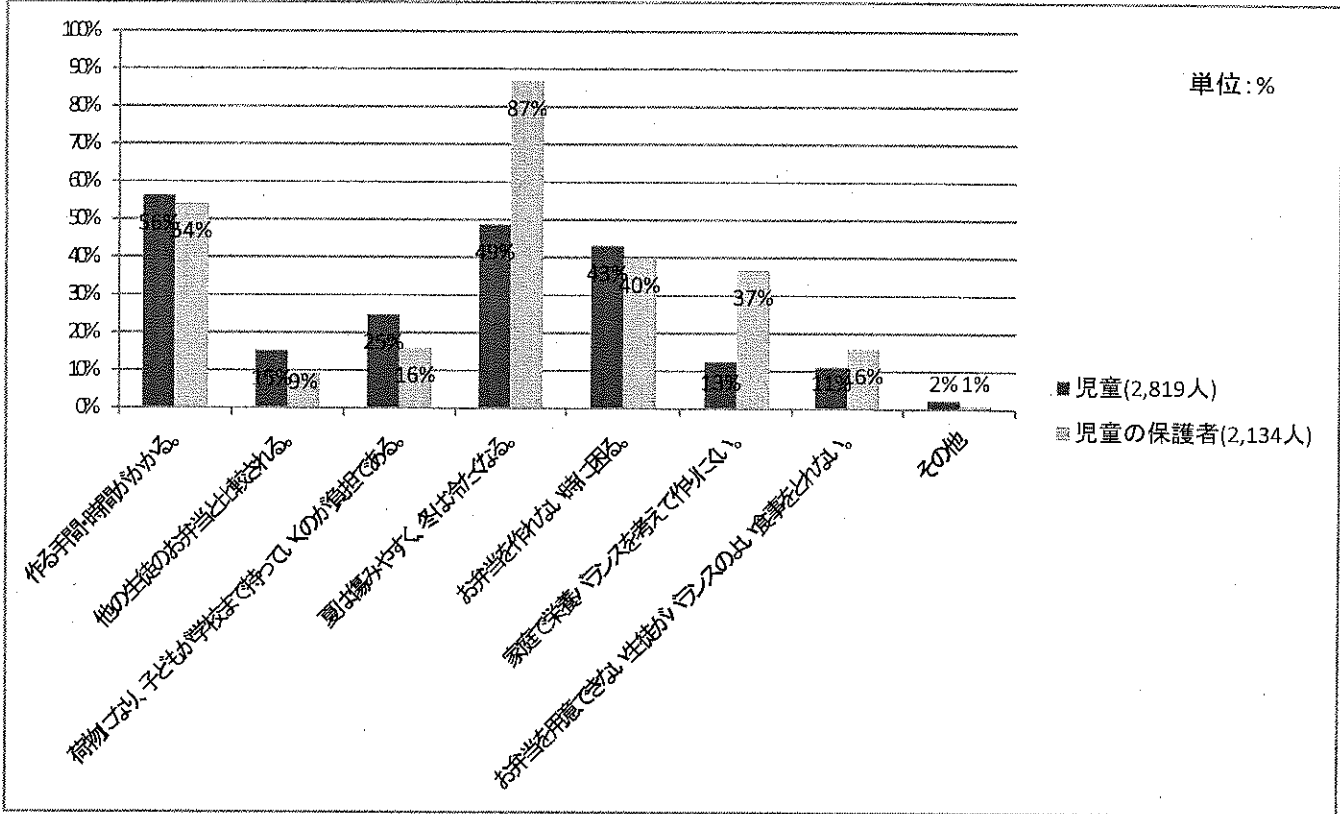


生徒及び生徒の保護者

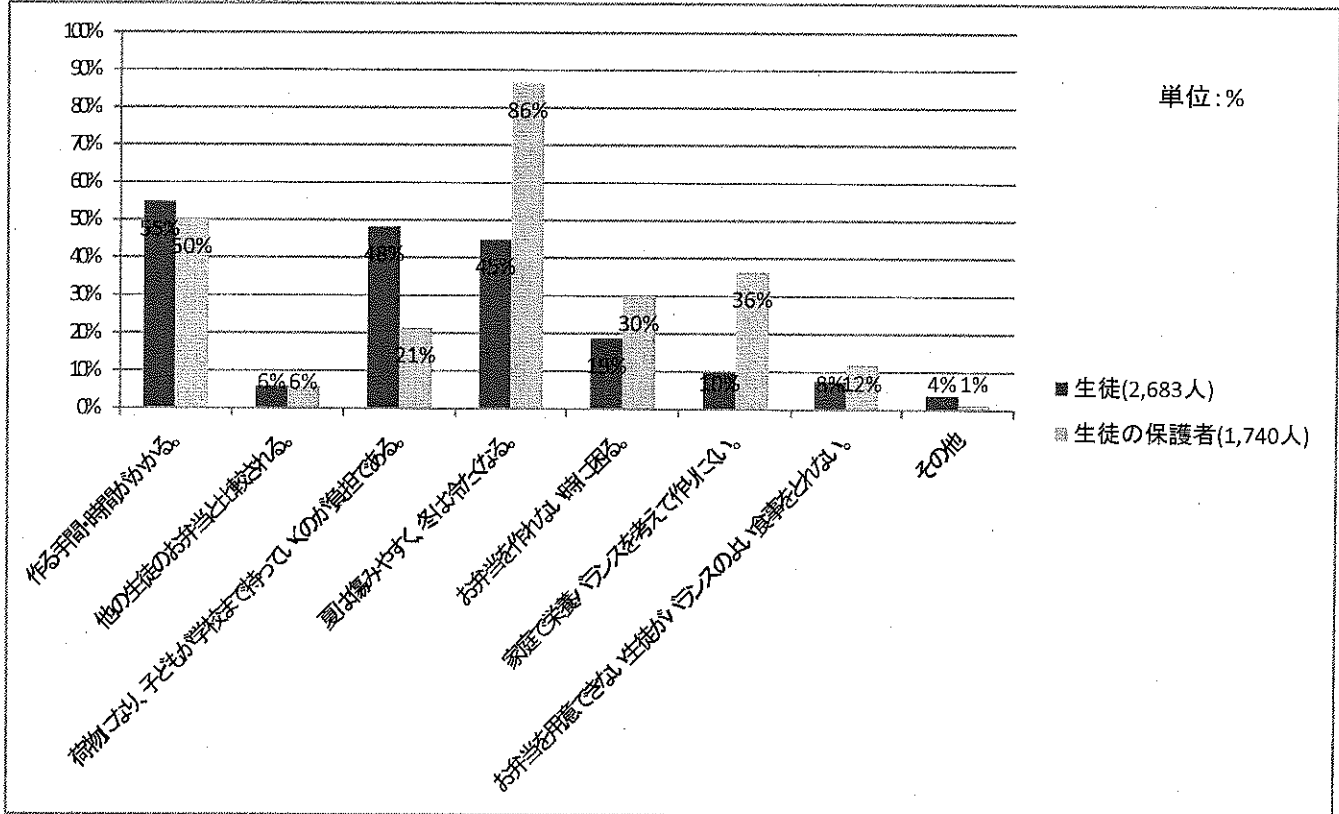


問3 家庭でお弁当を作るにあたって心配なことについて、3つ選んでください。

児童及び児童の保護者

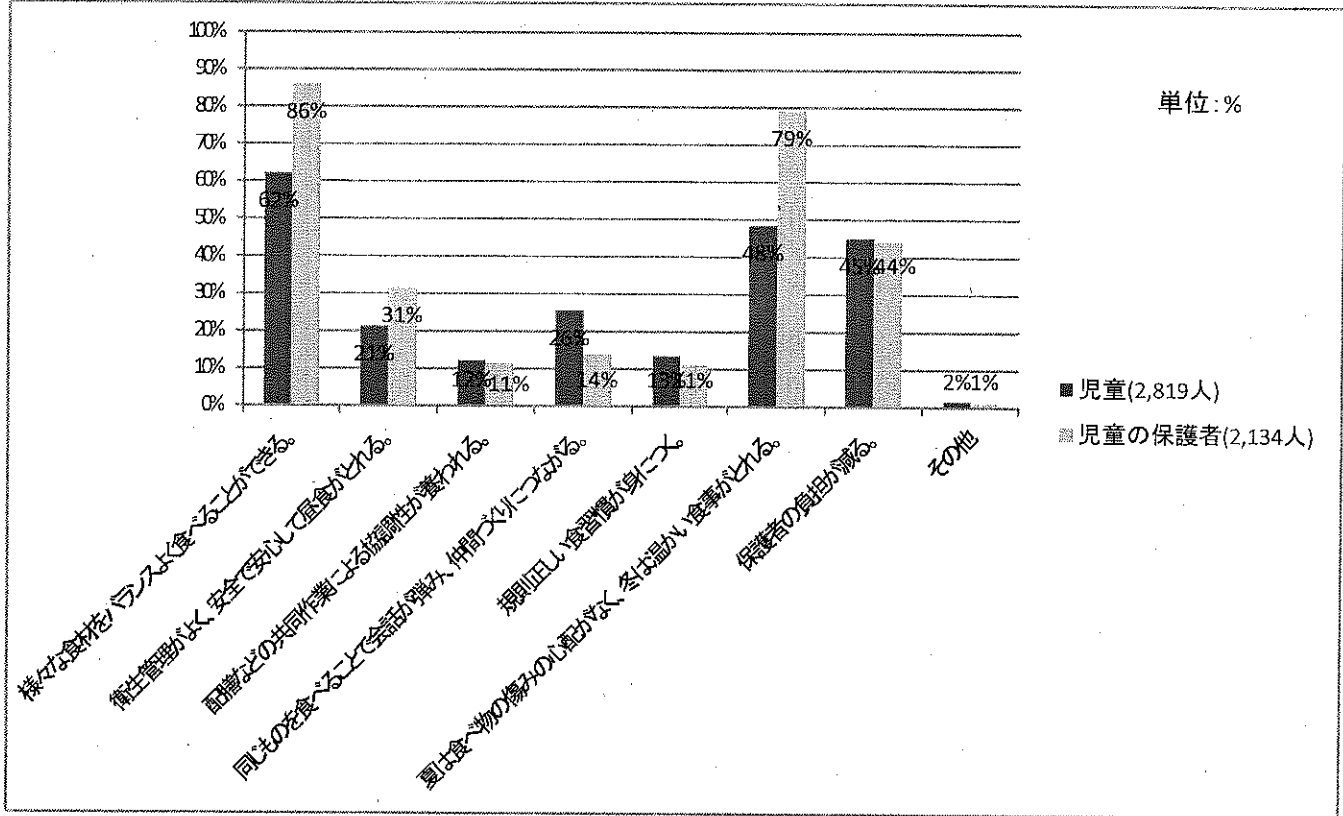


生徒及び生徒の保護者

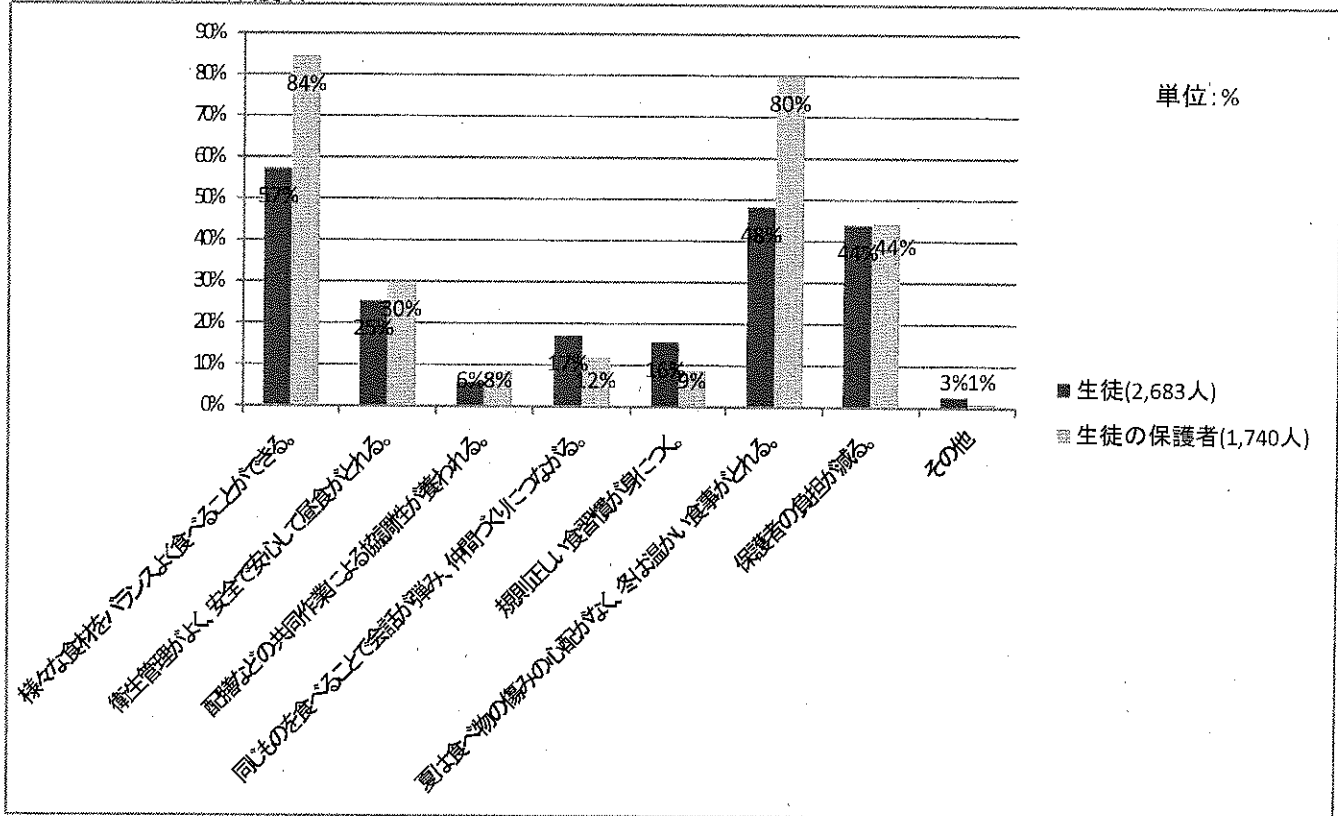


問4 学校給食のよいところについて、3つ選んでください。

児童及び児童の保護者

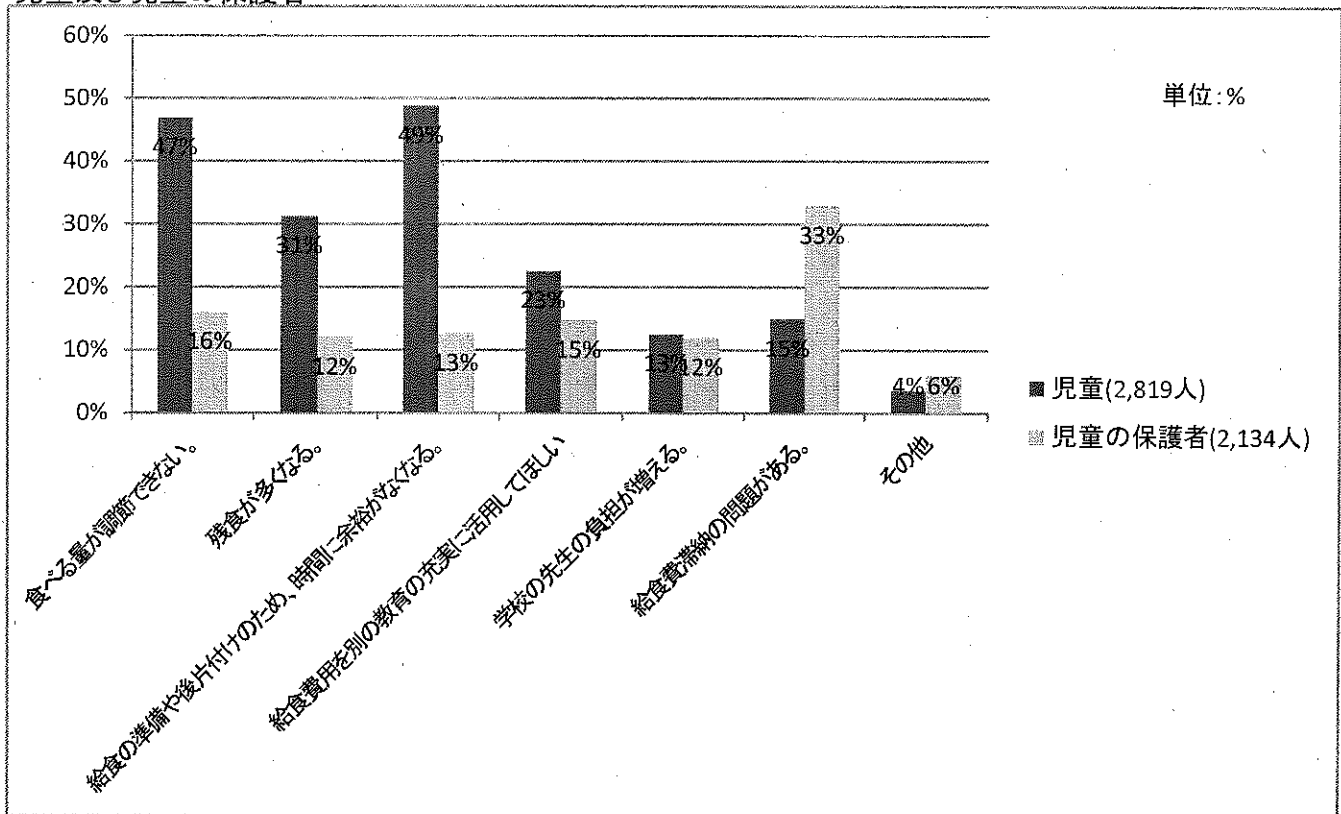


生徒及び生徒の保護者

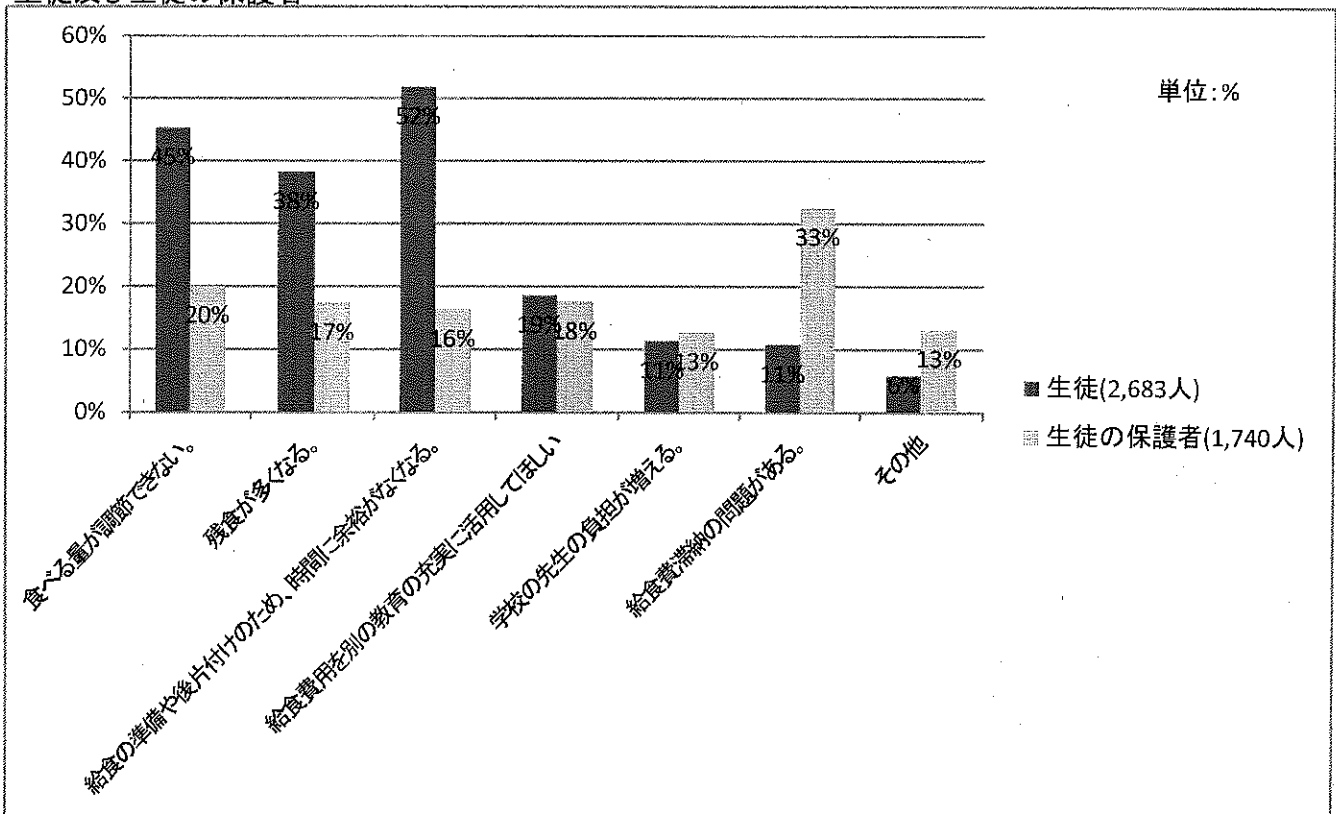


問5 学校給食を実施するにあたって心配なことについて、3つ選んでください。

児童及び児童の保護者

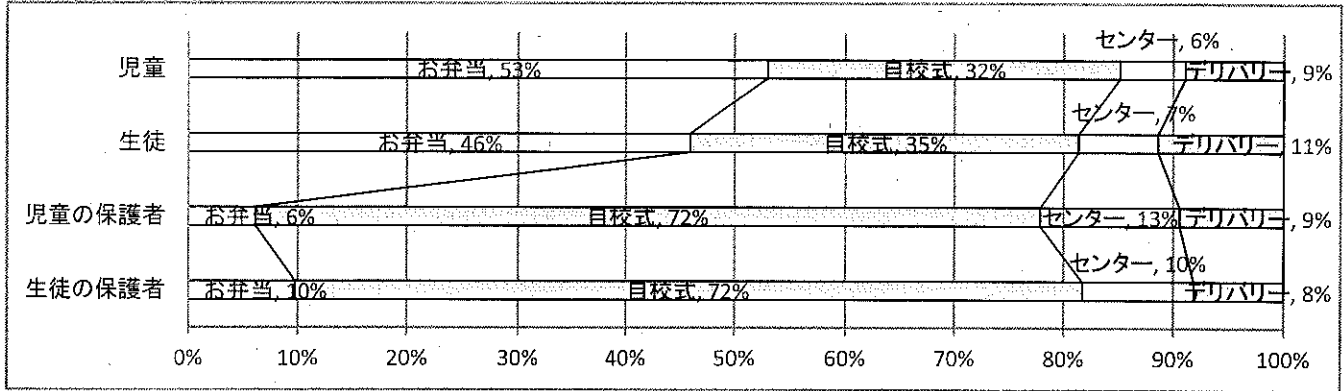


生徒及び生徒の保護者

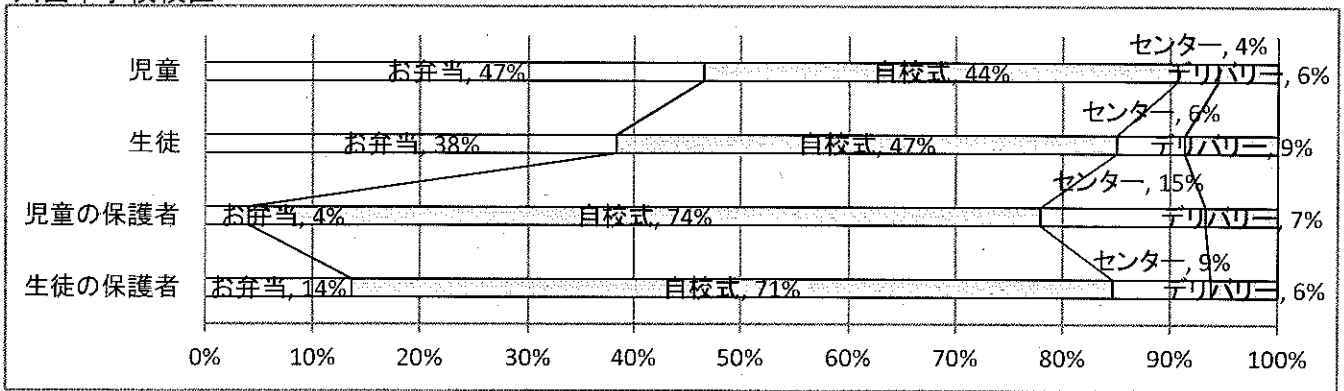


問6 学校給食の実施方法を実施して欲しい順にしてください。(優先順位1位の割合)

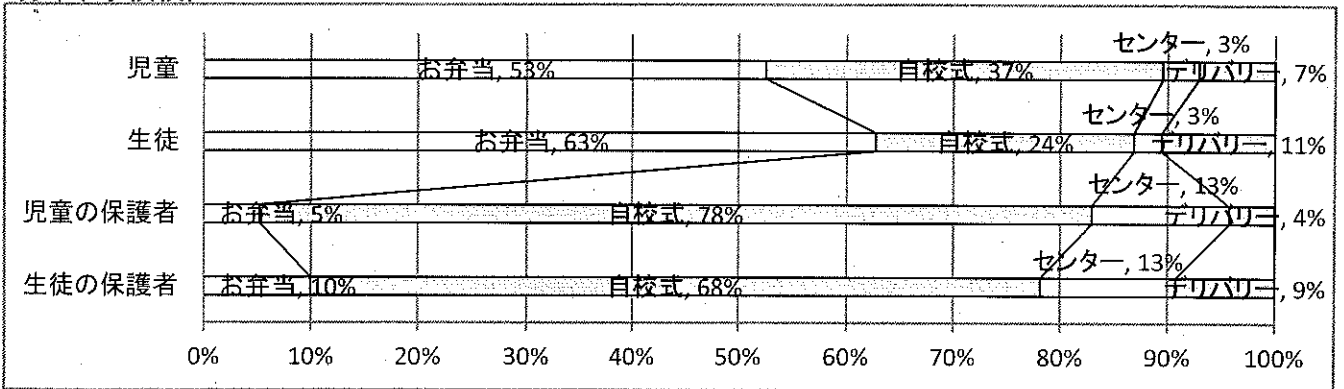
川西南中学校校区



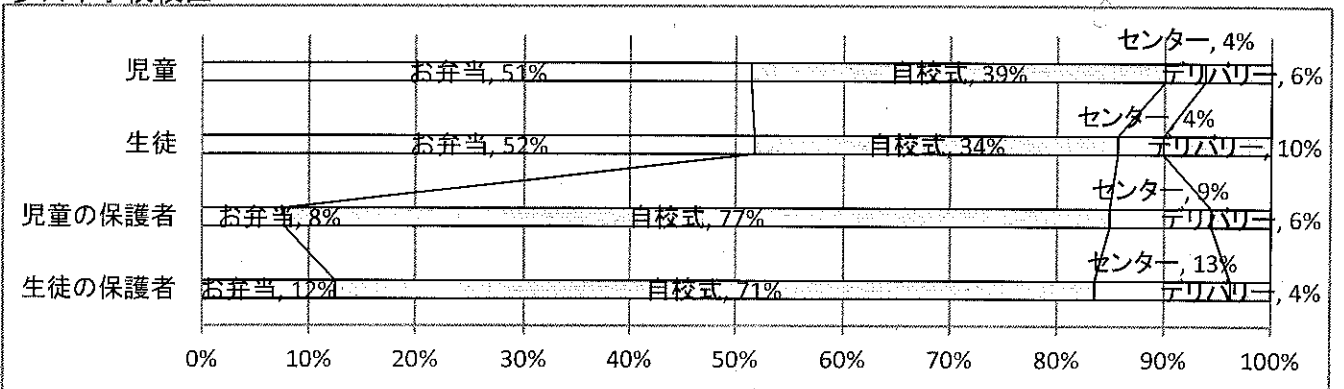
川西中学校校区



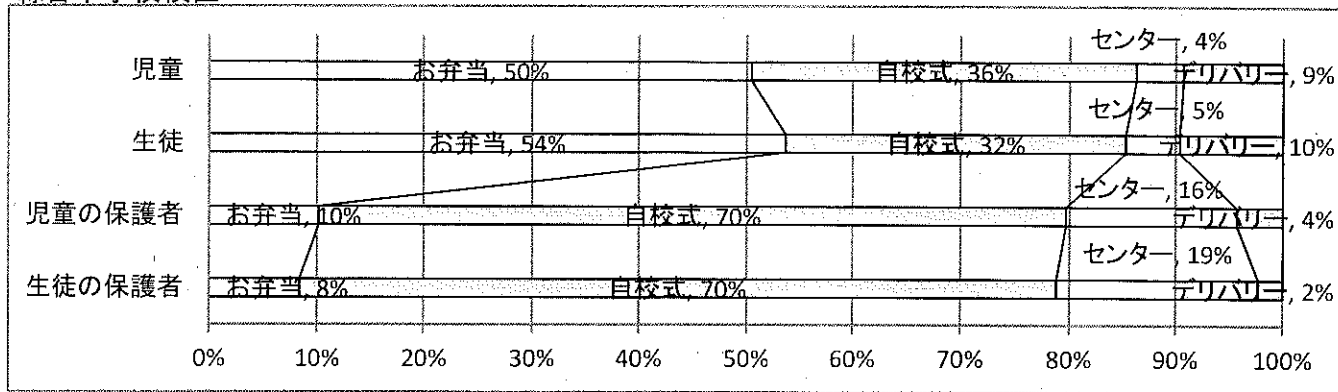
明峰中学校校区



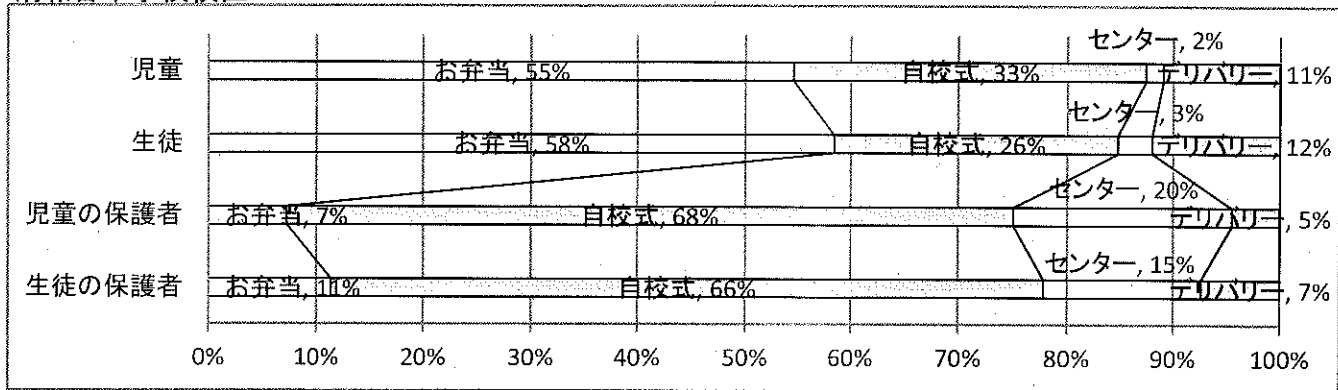
多田中学校校区



緑台中学校校区



清和台中学校校区



東谷中学校校区

